

全建事発第 62号  
平成17年8月9日

各都道府県建設業協会会長 殿

社団法人 全国建設業協会  
会長 前田 靖 浩



フラットデッキ安全チェックシート配布のお願いについて

フラットデッキは低コストで施工性が良いことから、鉄筋コンクリート床スラブの打込み型枠として使用されておりますが、正しい使用方法を守らなければ建設現場での安全は確保されません。このためフラットデッキ工業会では、安全の喚起と正しい使用方法を普及するため、別添の「フラットデッキ安全チェックシート」を作成いたしました。

つきましては、広くチェックシートをご利用いただき、安全な工事が推進されるよう貴会会員に対し周知・配布方よろしくお願ひいたします。

以上



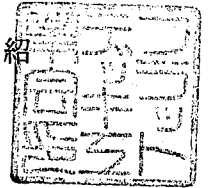
平成 17 年 8 月 5 日

社団法人 全国建設業協会  
会長 前田 靖 治 様

社団法人 公共建築協会  
会長 川 上



フラットデッキ工業会  
会長 平 林 聖



### フラットデッキ安全チェックシート配布のお願いについて

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当協会ならびに当工業会の事業につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、フラットデッキは鉄筋コンクリート床スラブの打込み型枠として、現在では年間約 900 万平方メートルが使用されています。フラットデッキ工業会では、フラットデッキの普及、技術向上、安全啓発を主な活動にしております。

平成 4 年に型枠工事施工の省力化や熱帯木材消費の削減といった社会的要請を受け建設省（現在：国土交通省）の建設技術評価制度に取り上げられ、フラットデッキの品質、施工上の精度、作業の安全性などを考慮し、積極的に利用できる統一のマニュアルとして「フラットデッキ型枠設計・施工マニュアル」がフラットデッキ型枠技術開発委員会によって編集され、広く建設業界で利用されるようになりました。

その後、社団法人公共建築協会において建築材料・設備機材品質性能評価事業が発足し、また新たなメーカーが技術評価を受けたことを機により一層充実したマニュアルの整備が必要となり、技術の進歩や新しい知見などを加え、マニュアルを全面的に見直し、「床型枠用鋼製デッキプレート（フラットデッキ）設計施工指針・同解説」（以下「指針」という。）として、平成 7 年に編纂・出版し、平成 16 年には改訂版が出版されました。

フラットデッキは、低コストで施工性の良い製品との評価をいただいで広くご利用いただいでおりますが、一方、指針に規定された設計、施工条件を適切に守らなければ、建設現場での安全性が確保されません。

最近、厚生労働省からフラットデッキについて安全喚起の推進が望まれており、フラットデッキ工業会では安全喚起と正しい使用方法の普及を図る目的で、フラットデッキの安全チェックシートを作成いたしました。つきましては、貴協会を通じて広くこの安全チェックシートを貴各都道府県協会にお知らせいただき、安全な工事が推進される一助になればと、ここにお願い申し上げます。最後になりますが、指針の現場での活用につきましても併せてお願い申し上げます。

なお、フラットデッキ安全チェックシート及びイラストは、フラットデッキ工業会のホームページ <http://www.flatdeck.jp/> に掲載しています。

敬具